

申し込みおよび競技上の注意

申し込み上の注意や平成 29 年度競技規則の改正等がありますので、**必ずご確認のうえ**、お申し込みください。

申込上の注意および競技規則について

本大会は、当該年度の全国障害者スポーツ大会競技規則および本大会申し合わせ事項により行います。

[介助者について] 全競技共通事項

①介助者の役割／スポーツへの参加を通じた社会参加の推進という本大会の目的を踏まえ、招集から競技終了に至るまで、原則として選手自身が一人で行動できるように指導をお願いします。

しかし、障害の種類や程度等の理由により介助者による補助や指示がどうしても必要な選手については、上記内容を理解したうえで、理由を添えて大会当日に申請してください。

「不安がっている」、「緊張している」等、障害の種類や程度に寄らない理由での申請は認めません。

②介助の内容／介助者は衣類の脱着や移動、水泳競技の肢体不自由、視覚障害選手のスタート介助（入退水介助含む）、フライングディスク競技の視覚障害選手に対する介助（投げる方向、通過、不通過、ディスクの飛行状況）等、**選手が困難を要する事柄に限り**介助することができます。

③禁止事項／介助者は、競技エリア内で「②介助の内容」で掲げた以外の**競技に関するいかなる指導・助言、写真やビデオ撮影等を行ってはなりません**。この行為が発覚した場合は、**選手が失格**となりますので十分注意してください。ただし、「服を着ましょう」、「スタートラインに行きましょう」等の**競技の準備や待機等を促す指示は可能**です。

[陸上競技]

①走競技の 50m と 100m、跳躍競技の立幅跳と走幅跳、投てき競技のジャベリックスローとソフトボール投は区分 8 を除き、**両方に申し込むことはできません**。

②50m 走は全てスタンディングスタートとなり、**スターティング・ブロックは使用できません**。

③車いす競技で、100m 以上の競走競技に出場する競技者は**必ずヘルメットを着用**してください。

④ガイドおよびガイドランナー、コーラー等は**選手各自で手配してください**。

⑤不正スタート（フライング）は**1 回目で失格**とします。[28 年度改正]

⑥立幅跳での声、音源による援助は廃止します。[28年度改正]

⑦スタートのコールは「イングリッシュコール」とします。[28年度改正]

【スタート方法】

1. オン・ユア・マークス（意味／位置について）の合図の後、競技者は自分の割当てられたレーン内のスタートラインの後方の位置につく。スターティング・ブロックを使用する競技者は、両手と少なくとも片膝がグラウンドに、両足はスターティング・ブロックと接触していなければならない。
2. セット（意味／用意）の合図で競技者は、速やかに最終のスタート体勢に構えなければならない。
3. スターターは、すべての競技者が「セット（用意）」の構えで静止したと確認した時点で、信号器を発射する。

[水 泳]

①別紙、「競技順序」を確認のうえ、出場種目をお選びください。

②FINAの公認した水着を着用してください。ただし、身体的理由によりFINAの公認した水着の着用が不可能な場合は審判長の許可を得てください。[29年度改正]
※新潟県障害者スポーツ大会においては、できる限り公認の水着を着用してください。

③自由形に限り、プールの底に立っても失格になりませんが、歩くことは許されません。また、競技中にレーンロープを引っ張ってはなりません。[29年度改正]

[卓 球]

①平成31年度全国障害者スポーツ大会より精神障害者の区分が導入されることを踏まえ、平成29年度に開催する第18回新潟県障害者スポーツ大会から、精神障害者の区分をオープン種目として設けます。ただし、参加者が少ない等の理由で試合が成立しない場合は中止する場合があります。

平成30年度競技規則改正予定

平成30年度に大幅な競技規則の改正が予定されています。

該当される方は、今後、参加される際には十分ご注意ください。

ただし、改正予定のため変更の可能性もありますので、予めご了承ください。

改正内容（予定）

[陸上競技]

①視覚障害者の競走競技で伴走ありの場合は紐等を必ず持つこととする。

【理由】伴走者の普及・育成及び、より安全に競技を行うため。

②視覚障害者の競走競技で伴走ありの場合の紐等の長さの変更。

【理由】各地で開催される競技会やロードレース等に伴走者を伴った視覚障害者の参加も増え、今後、大会ごとに紐等の長さが異なるといった混乱を避けるため。

[アーチェリー]

①リカーブ部門において年齢区分を撤廃することとする。

【理由】全国大会参加選手の現状で、競技成績に顕著な差がみられないことその他、地域大会（選考会）について、参加選手の障害層を考えても、また競い合う相手が増えるという面でもメリットが大きいと考えられるため。

[障害区分（視覚障害区分）の改正]

①陸上競技、水泳、卓球（サウンドテーブルテニス含む）

【理由】現在の障害区分と障害等級の相違を是正し、身体障害者手帳での障害区分判定を明確にするため。

◆視力について

現 行／良い方の視力で障害区分を判定

改正後／両眼の視力の和で障害区分を判定

【理由】手帳等級表の表記に合わせたため

注1：指数弁～光覚弁については、以下の視力として換算し和を算出する。

指数弁は「0.01」、手動弁～光覚弁は「0」をして判定する。

注2：視力は、手帳と同様に矯正視力（眼鏡、コンタクトレンズ等を使用した視力）で判定を行う。

◆視野について

現 行／視野は「5度以内」と「それ以外」で区分する

改正後／視野は障害区分の判定要因には含めない

【理由】身体障害者障害程度等級表の1級とそれ以外のところで障害区分の基準を設けたため。

②卓球（サウンドテーブルテニス含む）について

現 行／「視力0.03までまたは、視野5度以内」はサウンドテーブルテニス
「その他の視覚障害」は卓球

改正後／視力・視野を問わず、アイマスク装着の有無で、競技を区分する。

※アイマスク有りはサウンドテーブルテニスに、アイマスク無しは一般卓球に出場できる。

平成 30 年度の視覚障害区分改正に伴う障害区分表

■陸上競技

◎男女別・年齢区分別 ▲男女別・年齢区分なし

障害	区分番号	障害区分	競走					跳躍			投てき		
			50m	100m	200m	800m	1500m	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール 投げ	ジャベ リックスロー
視覚障害 ※1	24	視力0から0.01まで※2	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
	25	その他の視覚障害	◎	◎	◎	◎	◎	▲	◎	◎	◎	◎	◎

※1 視力は両眼の和で判定する。

※2 障害区分 24 は光を通さないアイマスクを装着する。

■水泳

◎男女別・年齢区分別 ○男女別・1部 ●男女別・2部

障害	区分番号	障害区分	自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ	
			25m	50m	25m	50m	25m	50m	25m	50m
視覚障害 ※3	23	視力0から0.01まで※4	◎	◎	●	○	●	○	●	○
	24	その他の視覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○

※3 視力は両眼の和で判定する。

※4 障害区分 23 は光を通さないゴーグルを装着する。

■卓球

◎男女別・年齢区分別

障害	区分番号	障害区分	卓球	サウト テーブル テニス
視覚障害	15	アイマスク有り※5		◎
	16	アイマスク無し	◎	

卓球競技は、視力・視野の程度に関わらず、アイマスクの有無で出場種目を分ける。

※5 障害区分 15 は光を通さないアイマスクを装着する。

平成 31 年度以降の競技規則改正予定

[卓球競技]

- ①平成 31 年度全国障害者スポーツ大会より、卓球競技に新たな参加障害区分（精神障害）を設けることとする。
- ②競技規則については、現在の全国障害者スポーツ大会競技規則卓球競技（立位）で定める内容の他、特に定める予定はない。

[新たな正式競技の導入]

- ①平成 33 年度全国障害者スポーツ大会より、正式競技（個人競技）としてポッチャを導入することとする。
- ②対象障害は身体障害とする。
※障害区分及び競技規則については、現在調整中。
- ③参加申込は以下のとおりとする。
 - ・個人競技だが、2 人 1 組で参加申込を行う。
 - ・2 人の選手の内訳は「立位」と「座位」それぞれ 1 名とする。

全国障害者スポーツ大会競技規則について

本大会は、平成 29 年度全国障害者スポーツ大会競技規則により行います。
全国障害者スポーツ大会競技規則は、原則として一般の競技規則に則っていますが、障害による怪我や事故・障害の悪化のリスクを回避するなどのために、本大会独自の規則を適用する場合があります。

参加される選手、学校および施設等の職員、支援者、ご家族等の皆様方におかれましては、できる限り本大会の競技規則集を購入いただき、**各競技規則を十分ご理解のうえ、ご参加くださいます**ようお願い申し上げます。

原 則

■ 平成 29 年度全国障害者スポーツ大会競技規則に定める以外は、以下の平成 29 年度競技規則により行います。

[陸 上 競 技] (公財) 日本陸上競技連盟競技規則

[水 泳] (公財) 日本水泳連盟競技規則

[アーチェリー] (公社) 全日本アーチェリー連盟競技規則

[卓 球] (公財) 日本卓球協会制定の日本卓球ルール

[ボウリング] (公財) 全日本ボウリング協会制定ボウリング競技規則

※フライングディスクは、平成 29 年度全国障害者スポーツ大会競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則集の販売について

全国障害者スポーツ大会競技規則集は (公財) 日本障がい者スポーツ協会にて販売をしております。(書店では取り扱っておりません)

購入をご希望の方は、別紙、下記ホームページから注文書をダウンロードいただくか、別紙注文書に必要事項を記入のうえ、直接、(公財) 日本障がい者スポーツ協会へお申し込みください。

[単価] 1,000 円 (税込)

[(公財) 日本障がい者スポーツ協会ホームページ]

<http://www.jsad.or.jp/training/order.html>